

藤沢市太陽の家 しいの実学園 児童発達支援自己評価(2023年度)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	24	8	・活動や登園児童に合わせ、支援室のレイアウトを工夫している。 ・ホールや体育館なども利用している。 ・気持ちを落ち着かせるクールダウンの部屋などがあると良い。
	2	職員配置数は適切であるか	28	14	・配置基準は満たしているが、場面によってはもう少し職員がいると助かる。
	3	個々の特性に応じ、本人に分かりやすい情報伝達等への配慮(表示等)がなされているか	28	0	・絵・写真カードなどを用い工夫をして支援を行なっている。 ・担任だけでは解決が難しい場合、上司や他の領域の職員と協議し、他職種協働を図っている。 ・五覚への刺激を意識して支援をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	29	21	・清潔に保つ様になっているが、建物の老朽化は目立つ。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか	36	5	・各階層においての定例会議を設け、意見交換を行なっている。
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	39	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	41	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	34	4	・実習生や外部講師などの積極的な受け入れを行い、意見交換を行なっている。また、気づきを改善へ繋げている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	38	4	・フルタイム以外の職員に対しての研修の機会が必要。 ・障害種別に応じた研修会が今以上にあると良い。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	43	0	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	38	2	・項目について検討をする必要がある。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	42	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	42	0	・クラス担任ではない、フリーの職員であるためケース記録や連絡帳で把握しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	41	2	
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	42	1	・登園児童を考慮し、職員間で協議・工夫をしている。 ・児童の苦手な点にも目を向け支援を行なっている。 ・先輩職員などと相談するときもある。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	44	0	・個別活動から個々の評価を行い、集団でどの様な支援ができるかももう少し検討の機会があると良い。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	45	0	
18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の振り返り、気付いた点等を共有しているか	37	7	・クラス単位で、できる限り毎日行っている。 ・必要に応じて適時行っている。	

	19	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	40	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	42	2	
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が出席しているか	39	1	・主に児童発達支援管理責任者が出席しているが、クラス担任などの出席の機会が、もっとあると良い。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	39	1	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	38	1	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	35	3	
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	39	1	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	39	2	・事前の情報交換の機会は確保されている。しかし、もう少し密な連携があると良い。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33	4	・コロナ禍後、以前の様な交流はできていない。
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	33	6	・感染症対策より、一部において積極的な交流はできていない。

	29	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	31	7	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	42	0	・親子通園の機会などに伝える様になっている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者等に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか。	39	0	・公認心理士が講師となり、保護者教室を開催している。グループワークを用い保護者同士の交流や、一方的な知識の伝達とならない様に努めている。 ・参加が難しいご家庭に対して、ビデオ配信などができても良いかと思う。
保護者への説明責任等	32	重要事項説明書等で丁寧な説明を行っているか	37	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	41	0	
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	42	0	・職員間で共有し、多角的な視点で返答を行っている。 ・場合によっては、児童発達支援管理責任者や管理職から伝達している。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速に対応しているか	41	0	
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	40	0	
	37	個人情報の取り扱いに十分配慮しているか	43	0	
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	42	0	

	39	事業所の行事に地域の住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか	39	2	・開かれた施設を目指すしてはいるが、コロナ禍以降検討が必要となっている。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	42	0	・不審者対応の実地研修などがあると良い。
非常時の対応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	42	1	
	42	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	40	1	・詳細について、担任以外把握できていない時がある。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	41	0	・管理栄養士の指導のもと、徹底されている。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	40	0	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	40	0	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもの保護者に事前に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	38	0	・月1回身体拘束適正化委員会を組織し、適切且つ透明な支援を心がけている。